平成29年度行政評価 事務事業評価シート（平成28年度実績）

事務事業コード	030201100	予算コード	01017600	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点
事務事業名	長寿者祝賀事業			正規職員数	0.15	国庫支出金	0	有効性	A
担当課	高齢介護課			嘱託職員数	0.1	府支出金	0		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0	効率性	C
				歳出（千円）		その他	0		
				人件費総額	1,696	一般財源	2,255	妥当性	A
						減価償却費	0		
						事業費	559	受益者負担	該当なし
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			2,255	緊急性	D
実施手法	市直営			市民1人当りコスト（円）			22		
対象				活動指標		H28実績		公的関与	A
特定の市民		対象数	市内最高齢者、	長寿者市長訪問対象者数		16.0			
市内最高齢者、当該年度100歳、前年の１０月２日から今年の１０月１				９０歳祝賀　記念品贈呈対象者数		252.0		実施主体・委託化	A
事業の内容									
祝品支給事業として以下の事業を行っている。 ①「長寿者市長訪問」・・・敬老と長寿を祝福するため、祝品を持って最高齢者・100歳者宅を市長が訪問 ②「90歳祝賀」・・・祝賀状・記念品の贈呈								他の事務事業との関連	A
				成果指標		H28実績		透明性	該当なし
				長寿者市長訪問件数		16.0			
				９０歳祝賀　記念品贈呈者数		252.0		財政健全化計画	該当なし
								財政健全化の取組	該当なし
				コスト指標		H28実績		改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的				（市長訪問）　対象者１人当たりの経費		7,900.0			
敬老と長寿を祝福するため祝品を給付し、その福祉を増進し、併せて市民の敬老思想の高揚に資する。				９０歳祝賀　記念品贈呈者１人当たりの経費		10,142.0			

一次評価	B
９０歳祝賀については、平成２０年度で参加者が低迷していた祝賀式を取り止め、平成２１年度から祝賀状と記念品を贈呈する形に変更し、経費節減に努めた。高齢化が進む中、９０歳祝賀については、一段と対象者が増える状況にあるが、100歳未満に対する祝賀は、９０歳のみとなっており、現状維持すべきと考える。	

事務事業実施内容
９０歳、百歳、市内最高齢の方に対し、祝賀状と記念品の贈呈ができた。